

名前：

私は、「インターネットでニュースを見る  
 ことができるから、もう新聞や雑誌はいらな  
 い」と言う意見に反対します。

確かに、現在インターネットの普及により、  
 多くの様々な情報が簡単に知ることができる  
 ようになつています。情報を集めることに関  
 して言えば、インターネットは一番多く利用  
 されていると思われれます。また、インタネッ  
 ト上では、更新が簡単にでき、そして日本に  
 おいては、携帯電話でもウェブサイトを見れ  
 る時代なので、いつ、どこでもすぐに知りた  
 い情報が集められます。

しかし、インターネットは取捨選択の世界  
 です。自分の判断により、知りたい情報のみ  
 しか見ないことの方が多いでしょう。例えば、  
 あるウェブサイトには、いくつかのニュースの  
 小見出しがあります。その時、我々は、  
 その短い小見出しで、そのニュースが自分の  
 興味あるものかどうか判断します。そして、  
 興味のないものに関しては、そこをクリッ

クしてはいけません。

その点、新聞や雑誌では、ほとんどの人が  
 一度は全体に目を通すと思われれます。実際、  
 新聞や雑誌も取捨選択の世界ではありますが、  
 私は、インターネットの世界よりも、新聞等  
 の方が選択する時点で知る情報量が多いと考  
 えます。そして、それがゆえに、インタネッ  
 ト上の小見出しだけでは、興味が無いと判断  
 し、切り捨てていた情報でも、新聞上でもう  
 少し目にある情報量が増えると、意外と自分  
 にと、ておもしろい内容の記事であるという  
 発見があると思ひます。

またインターネットのニュースは、新聞の  
 記事よりも情報量が少ないと感じます。もし  
 て新聞にはコラムもあるので、他人の意見を  
 知ることができる。

私はこのような点からみて、いくらインタ  
 ネットが便利だと言え、新聞や雑誌の必要  
 性を感じます。